



# 第18回 日本核医学会春季大会

## 特別講演会2(ランチョンセミナー)

講演 1 稲木 杏史様(厚生労働省 医政局地域医療計画課)

### 核医学診療の今後を見据えた医療法関連法令のあり方について

新規の放射性薬物、医療機器の使用に際しては、医療提供体制の確保という医療法の趣旨に則り、関連法令を適正化する必要がある。その一方で、放射線の利用においては防護3原則(正当化・最適化・線量限度)を齊一的に担保する必要があり、医学領域の放射線の規制も、他の法令との齊一化を図りつつ過度に診療を妨げないように対応させていく必要がある。

現在、厚生労働省では「医療放射線の適正管理に関する検討会」を開催し、医療放射線に係る諸問題に対する規制の適正化を検討している。本講演では、検討会における議論を踏まえた医療法関連法令の今後のあり方について論じたい。

講演 2 大井 賢一様(特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー)

### 共通の敵“がん”とどう向き合うか?—続・核医学への期待—

がんと向き合う人たちが期待しているのは、がんを的確に捉え、最適で効果的な治療を提供する医療である。核医学にはこうした個別化医療への潜在的な可能性と期待が高い。人類が対峙すべき敵は“がん”であるとの認識から2016年末に核医学診療推進国民会議が設立された。患者支援者、医療者や研究者らが共に価値ある同志として“がん”と対峙するとき、さらにその連携を深化させていく余地があろう。人類が共通の敵“がん”と向き合うとき、核医学へのさらなる期待と提案を市民の立場から論じたい。

日時 2018年5月13日(日) 12:00~13:00

会場 会場(虎ノ門ヒルズフォーラム 5F)  
第3会場「ホールA-1」

司会 藤井 博史先生(国立がん研究センター)

開会の挨拶 畑澤 順先生(日本核医学会理事長 大阪大学大学院医学研究科)

受付/特別講演会2は整理券を配布します。

会場入口にて整理券と引き換えにお弁当をお受け取りください。

【配布場所】:会場 虎ノ門ヒルズフォーラム5階 参加受付付近カウンター

【配布時間】:5月13日(日)8:30~11:30

※整理券は配布時間内であってもなくなり次第、配布終了となります。

※整理券は特別講演会2開始と同時に無効になりますので、開始時刻までに会場へお越しください。